

八戸市長賞

アップルちゃんと私

高館小学校 六年 上 咲雪

今から二年前、学校でホウセンカを種から育てました。その経験から、大きな木も最初は一粒の小さな種だという事に改めて興味をわき、食べ終わったりんごの種を六つ庭に植えてみたのは、その年の秋の初めの事です。

芽が出るといいな、育つといいなと毎日見守っていたら、ある朝、地面からちよこんと小さな芽が二つのぞいていました。うれしくてすぐ家族へ報告しました。その日から小さい葉が何枚も生えてきて、土から五センチほどの苗になりましたが、冬がきて霜や雪に埋もれてしまいくきはかれ枝のようでした。雪が解け暖かい日が続くと、緑の小さい若葉が少しずつ芽吹いてきました。

みなさんは知っていますか。りんごの花は、白に近い淡いピンク色で、桜のような五枚の花びらで、とてもかわいいのです。つぼみの時は濃い赤色なのに、開いた花びらは白く見えて不思議だなと思いました。

一本だけ生き残った苗は、去年の春から秋にかけて、私のひざの高さまで成長しました。私はその苗に「アップルちゃん」と名付けました。のびてきた枝は細く、風が吹くだけでしなるようにゆれる様子が、ポキッと折れるのではない

かと心配だったので、支柱を立てました。冬には雪が降るので、りんごの木を守るため、父にネットをかけてもらいました。雪かきのときは、りんごの木がうもれないように家族で注意していました。

今年の春、ネットを内側からおし出すように、枝がぐんぐんのび、木の高さは私のかたぐらいに成長しました。枝がのびた分、葉の数が増え、その裏にアブラムシがたくさんついてしまいました。急いで植物用のスプレーを用意し、吹きかけた次の日には、ほほいなくなっていたので薬の効果におどろきました。

そして夏。一学期の終わりには、私の背をこえ、手を精いっぱい上にのばしてやっと届くかという高さまで成長し、横にのびる枝も葉もひと目では数えられないほどです。

食べたりんごの種が芽を出し、葉をつけ少しずつのびる様子を見守って三年。ゆっくり成長する時期も急成長する時期も、アップルちゃんは、ただ生きています。雨が降ったら水をたくわえ、晴れたら日光を浴びる。簡単なことだけど、三年間休まず同じことを続けられるアップルちゃんは、すごいと思います。動じない姿に毎日感動します。

私も、人として大切なあいさつ、思いやりを持って接する、素直でいる事など、簡単だけど大切な事を継続できる人になりたいです。三年目のアップルちゃんが元気に生きるため、茶色い葉や虫は私が取ってあげます。私も家族や友

達に助けてもらいながら、自分のペースで自分のために、成長していきたいと思えます。